

ひまわり

VOL.17

透析医療に関する知識 No. 14



透析昔語り

寿泉堂クリニック名誉院長
白岩 康夫

尿毒症

毎週規則正しくクリニックに通い、1回あるいは2回、3回の血液透析を受けている皆さん、本当にご苦労様です。あらためてねぎらい申し上げます。しかし、毎日、朝、昼、晩と3回の食事を摂っているのと同じで、そのために体調を整えることが出来ますし、生活の一部になってしまえば、快適な生活も望めます。

透析を受けなければどうなるのでしょうか。尿毒症になると聞かされているでしょうが、どのような状態になるのか、なかなかイメージが湧かないと思います。それは現在の医学では、患者さんが病院に来ている限り尿毒症にならないので、つまり尿毒症になる前に治療に入ってしまうので誰も症状をみていないからです。

尿毒症とはどのような病気なのでしょうか。2005年に医学書院が発行した標準理学療法学。作業療法学の内科学編に大成浄志氏が良くまとめて書いているので引用します。

「末期腎不全に伴う全身の重篤な諸臓器障害であり、放置すると数日で死亡する。臨床検査所見として、腎機能はGFRが5~10%以下、BUN100 mg/dl以上、Cr10 mg/dl以上を示す。水、NaCl貯留に伴う高血圧、浮腫、胸水貯留、高K血症、代謝性アシドーシスを示す。

「症状としては意識障害（無欲～昏睡）、脳波の除脈、運動神経障害がみられ、心電図ではK上昇の所見を示し、高度になると心停止がおこる。心不全が尿毒症による代表的死因である」

今でこそ血液検査とか心電図検査など検査法が発達しているので、これら検査データをもとに病態をはっきり把握することが出来るし、治療効果も評価できる時代になりました。したがって我々は悪化させないよう治療できるのです。そのため尿毒症の症状を見ていないこ

とになります。

私が医師になったのは昭和 32 年で、55 年も前の話です。新人として外科に入局したのですが、当時人工腎臓は日本に導入されたばかりで、この地方では東北大学病院に 1 台しかありませんでした。その効果は不十分で、教室の発表会で教授から透析効果でなく、血液が薄まっただけでないか、など言われていました。したがってこの頃は尿毒症の患者さんが存在していたのです。

その頃はまだ腎臓結核で腎不全になる人がおりました。多くは片方の腎臓から発症するのですが、進行すると対側腎にも及び、両方の腎臓が結核症となるので腎臓の機能を失います。透析療法は普及しておらず、結核に対しストレプトマイシン 1 g 筋注をするほか、対症的な治療を施すしかありませんでした。痙攣発作は最も警戒すべき症状で、光の刺激も発作を誘発するので、病室にはカーテンをし、部屋を暗くしておきなさい、と先輩から言われていました。

ある日、宮城県の偉い方が腎不全で意識不明となり、急遽人工透析による治療を施すになりました。全身浮腫の状態、意識がなく、全く意思疎通が出来ない状態でした。3 時間ぐらい透析したでしょうか、やっと目を開け、家族の呼びかけに反応するようになりました。これが最大の治療効果でした。

今ならこういった患者さんも救えるのになあ、と感慨深いものがあります。

食事の知識

減塩調味料について



最近、スーパーなどで様々な減塩調味料を目にするようになりました。減塩調味料の特徴として食塩（塩化ナトリウム）が通常品の 50%以下 となっています。（*塩分以外にも、たんぱく質、リン、カリウム量が調整されている減塩調味料も販売されています。）濃口しょうゆは小さじ 1 杯（6g）の中に約 1g の食塩が含まれていますが、減塩しょうゆやだしわりしょうゆはその半分ということになります。（*だしわりしょうゆとは、しょうゆを出汁で薄めたもので、しょうゆよりうまみのあるまろやかな味になります。）

濃口しょうゆ

小さじ 1 杯（6g）塩分 0.9g



塩分 約 1/2

減塩しょうゆ、だしわりしょうゆ

小さじ 1 杯（6g）塩分 0.5g

注 ●減塩調味料の中には食塩（塩化ナトリウム）の使用を少なくし、その代わりに塩化カリウムを多くした商品があります。塩化カリウムを含む減塩調味料は、血中カリウム濃度が上昇する恐れがありますので、成分表示を よく確認してから使用してください。



減塩になっているからといって、使用する量が多くならないよう気をつけましょう！

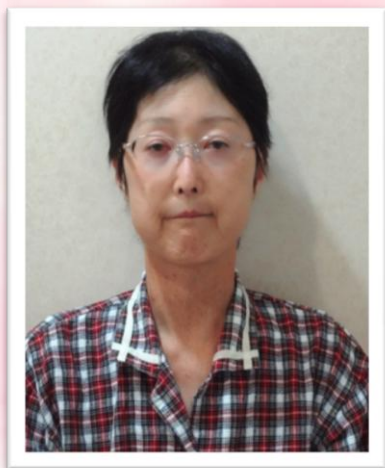


第3回透析センターお花見会を開催しました

4月22日（日） 開成山公園内にて、透析センターお花見会を開催しました。当日はあいにくの曇り空ではありませんでしたが患者さん・透析センタースタッフ共にたくさんの方に参加して頂き、歌ったり語りあったりと大変に盛り上がったお花見会となりました。お花見の途中からは風も出てきて肌寒くなったため予定より若干早めのお開きとなってしまいましたが、皆さんと一緒に桜を眺めながら楽しんだひと時はたいへん心温まるものとなりました。



～ イベント ボ イ ス ～



今年3月からクリニックにお世話になっています。お正月早々に入院となり、桜の頃には元気になりたいと過ごしていましたが、クリニックにお花見の催しがあることには驚きました。

初めての私は不安もありましたが、当日桜の木の下にブルーシートを広げ準備して下さっているのを見たら嬉しくなりました。

「う～ん、これぞお花見」定番のおつまみ、食いしん坊の私は3種のおだんご、皆さんからの差し入れにウキウキ、すこしずつごちそうになりました。皆さんの新たな一面、特技なども見ることができてとっても楽しい一時でした。ひざかけを一緒にかけて下さったり心づかいがうれしかったこと。口べたなので紙面を借りてありがとうございました。新参加者ですが今後ともよろしくお願ひします。

4階 遠藤玲子さん

開成山の花見ということで、久し振りに出席する事にしました。その日は雨との予報でしたが、幸いにも雨は降らず曇り空で、桜は5分咲きで花見としてはますますでしたが、風が吹いており、寒かったのが一番の印象です。じっとしていると寒さで震えが来そうで、寒さをしのごと酒を飲んだり、歌を歌ったりしましたが寒さには勝てませんでした。早々に散会となりました。スタッフの皆さん寒い中ご苦労様でした、感謝します。今度は暖かい日に是非やりたいと思う、その時は会費制！

これからも何回か行事があると思うので、出来るだけ参加してスタッフの方と患者の方々と話す機会を持ちコミュニケーションを取りたいと思います。

4階 矢内健吉さん



2年ぶり、二度目の花見会を楽しませて頂きました。今年の桜の花には、私をはじめ参加者の皆さん方の想いが強く、春らしい温暖な気候の中での宴を期待していたのですが、当日は桜の花は開花したものの思いのほか気温が低くて肌寒い日でした。

そのような中で、クリニックのスタッフの皆さんには、事前の準備にご苦労いただいたことと感謝申し上げます。

特に、似顔絵当てゲームは楽しいものでした。4階や5階の患者さんやスタッフさん数名の似顔絵を見て誰なのかを当てるというゲームは大いに盛り上がり一時寒さを忘れるものでした。私にとって、恒例の花見ダンゴが一人前ずつ頂けることは毎回楽しみであり、今回も「花より団子」の僕でした。デハッ!!

5階 増子勝利さん



編集後記

寒い中、お花見ご苦労様でした。寒い中、カラオケで盛り上がりました。たくさんの方の差し入れ、とても美味しかったです。ありがとうございました♪④